

子供たちに坂戸の魅力を伝える活動 現代政策学部庭田ゼミの「坂戸博士」



地域活性化政策を研究している城西大学現代政策学部の庭田ゼミでは、幼少期からの地域教育によってシビックプライドを醸成していこうという意図で、3年前から坂戸市内の幼稚園を訪問して、子供たちに坂戸の魅力を伝える活動を行っています。一昨年はご当地ヒーローショー、昨年はエプロンシアターを用いて幼稚園児に地域の魅力を紹介してきました。そして、今年のゼミ生は、園児たちが参加できる形の地域教育にしようとして、「坂戸博士による坂戸〇×クイズ」と題して、ショー形式のクイズ大会を行いました。

この日は、**おおや幼稚園**を訪問して、3年生の鶴間さんが演じる「坂戸博士」が坂戸の情報を散りばめたクイズを出して、園児たちと楽しみました。

庭田ゼミでは、4年生が3年生を指導しながら、プロジェクトの企画立案、幼稚園との調整、イベントの準備・実施、事後評価を学生主体で行っています。この一連のプロセスを経て、学生たちは、経済産業省の提唱する社会人基礎力（考え抜く力、前に踏み出す力、チームで働く力）が育成されていきます。こうしたプロジェクトは、教室内で学んだ様々な知識を繋ぎ合わせて実践的に応用する必要があるため、学生たちはとても苦労はしますが、これを経験した後は達成できた自信と講義を役立てることができた喜びを感じているようです。庭田ゼミの学生は、この取り組みから得られた知見をもとに論文を執筆し、この冬に大阪で開催される日本最大の学生学術大会の討論会に臨む予定です。